

授業科目 精神障害作業療法学演習

【担当教員名】 桐本 光	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	◎

【概要・一般目標：GI0】
精神障害作業療法評価学と治療学で学習した知識を、実践的に臨床応用するための思考方法と技術を習得する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 面接により、必要な情報を対象者から適切に収集するためのコツを習得する。
2. 面接実施の対応方法について相互に評価し、結果の基づき改善することができる。
3. テストバッテリーの適切な使用と結果の解釈の方法を習得する。
4. 集団活動の企画、運営、評価を実施することができる。
5. 社会生活技能訓練の構造と目的を理解し、ロールプレイの指導者を実施することができる。
6. 仮想症例に対する評価、プログラム立案を実施することができる。
7. グループ活動に積極的な態度で参加することができる。
8. 総合臨床実習への参加に相応しい知識、態度、技術を習得する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1, 2	自由面接演習（ビデオ撮影によるセルフチェックと他者からのフィードバック）	1, 2, 7, 8	講義, 演習
3, 4	検査による評価演習（テストバッテリーの実施と結果の解釈）	3, 8	講義, 演習
5-7	集団活動の実践演習（レクリエーションの実施）	4, 7, 8	講義, 演習
8-10	社会生活技能訓練の実施	5, 7, 8	講義, 演習
11-14	仮想症例に対する評価、プログラム立案	6, 7, 8	演習
15	まとめ	8	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席、演習参加態度、レポート、試験等から総合的に判断する。	【履修上の留意点】 教科書は改めて指定する。
---	---------------------------